癌性疼痛治療ラダー ladder for cancer pain relief

軽度

非ステロイド抗炎症、COX-2選択阻害、胃腸障害軽度：　セレコックス100ｍｇ、2Ｔ，2ｘ、夕食後

アセトアミノフェン：　カロナール200ｍｇ、8-20T/ｄ，3-4ｘ，毎食後

ロキソニン60ｍｇ，3T,　3ｘ，毎食後

ハイベン200ｍｇ、2Ｔ，2ｘ

モービック10ｍｇ、1Ｔ，1ｘ

中等度

非麻薬性：　トラマールカプセル25ｍｇ、4ｃ、4ｘ

非麻薬性：　ブプレノルフィン塩酸塩buprenorphine hydrochloride　レペタン Lepetan(大塚)

　坐薬：0.2・0.4mg、[薬価]レペタン：坐薬(\165.2/0.2mg，\215.9/0.4mg)、レペタン坐薬 0.2-0.4mg/sup, 3sup

高度（麻薬）以下は初回量、

MSコンチン10ｍｇ，2T,　2ｘ，12時間毎；　レスキュー：オプソ内服薬　5ｍｇ/P,1P/T,追加投与間隔は1時間、

オキシコンチン5ｍｇ、2Ｔ、2ｘ、12時間毎；　レスキュー：オキノーム散2.5ｍｇ/P、1P/T、追加投与間隔は1時間、

カディアンカプセル20ｍｇ、1ｃ、1ｘ

パシーフカプセル30ｍｇ、1ｃ、1ｘ

アンペック坐薬10ｍｇ、3sup, 3x

フェンタニルクエン酸塩fentanyl citrate、フェントス Fentos(久光)

　テープ：1・2・4・6・8mg/枚(0.64・1.27・2.55・3.82・5.09mg：フェンタニルとして/枚)

[薬価]フェントス：テープ(\586.9/1mg/枚，\1,094/2mg/枚，\2,039/4mg/枚，\2,935.1/6mg/枚，\3,800.7/8mg/枚)

フェントステープ, 1枚、1ｘ、力価表に基づき24時間毎、

内服からの切替時、初回は内服・テープを重複とする、テープからの吸収が遅いので。

レスキュー：　オキノーム散2.5ｍｇ/P、1P/T、追加投与間隔は1時間、

内服困難例は、

フェンタニルクエン酸塩fentanyl citrate、アブストラル Abstral(協和発酵キリン)

　舌下錠：100・200・400μg、[薬価]アブストラル：舌下錠(\581.8/100μg，\811.9/200μg，\1,132.8/400μg)

アブストラル舌下錠　1回の突出痛に対して，100μgを開始用量として舌下．用量調節期に，症状に応じて，1回100，200，300，400，600，800μgの順に一段階ずつ適宜調節し，至適用量を決定、投与間隔2時間、

または

イーフェンバッカル錠　1回の突出痛に対して，50μg（経口モルヒネ換算30-60ｍｇ）-100μg（経口モルヒネ換算60ｍｇ≦）を開始用量として舌下．用量調節期に，症状に応じて，一段階ずつ適宜調節し，至適用量を決定、投与間隔4時間、

モルヒネ嘔気：

ノバミン5ｍｇ、3Ｔ，3ｘ，14日

モルヒネ便秘：

マグミット330ｍｇ、3Ｔ，3ｘ

初回換算量

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フェントステープ | 1ｍｇ | 2ｍｇ | 4ｍｇ | 8ｍｇ | 12ｍｇ |
| トラマール | 150 |  |  |  |  |
| レペタン座薬 | 0.6 | 1.2 |  |  |  |
| ＭＳコンチン | 30 | 60 | 120 | 240 | 360 |
| オキシコンチン | 20 | 40 | 80 | 160 | 240 |
| アンペック | 10 | 40 | 70 | 100 |  |

麻薬の作用

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 吸収開始時間 | 血中最高濃度到達、時間 | 効果判定時 | 作用時間 | 定期投与間隔時間 |
| トラマール | 30/60-1 | 2 | 2 | 4-9 | 6 |
| MSコンチン | 1 | 2-4 | 2-4 | 8-12 | 8-12 |
| オプソ | 10/60 | 30/60-1 | 1 | 3-5 | 4 |
| オキシコンチン | 12/60 | 2-3 | 2-4 | 12 | 8-12 |
| オキノーム | 15-30/60 | 2 | 2 | 4-6 | 6 |
| フェントス | 4 | 20 | 24 | 24 | 24 |